

## 2183 株式会社 リニカル

新型コロナウイルス感染拡大が与える影響とは？

IMPACT REPORT

本レポートを構成する新型コロナ関連分析結果

# 大手経済メディアへ分析データ提供多数

週刊エコノミスト 大型特集10ページ掲載6/1発売号

日本経済新聞、ITメディア、ダイヤモンドオンライン他

## 新型コロナ関連レポート累計1万ダウンロード突破！

特許取得済み自然言語処理技術  
膨大なニュースから解析を可能に

大手金融機関、事業法人を中心に  
100社以上にサービスを展開

MUFGアクセラレータプログラム  
グランプリ企業

# 目次

## リニカルへの影響予測

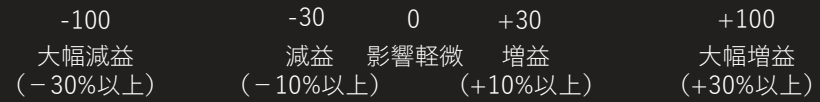
1. 新型コロナウイルス影響サマリー
2. シナリオ分析（エリア別）
3. サプライチェーン影響予測
  - 仕入先企業への影響予測
  - 得意先企業への影響予測
4. AI決算コメント
5. 競合企業決算分析
6. 業績要因一覧
7. 企業基本情報

リニカル  
シナリオ影響スコア合計

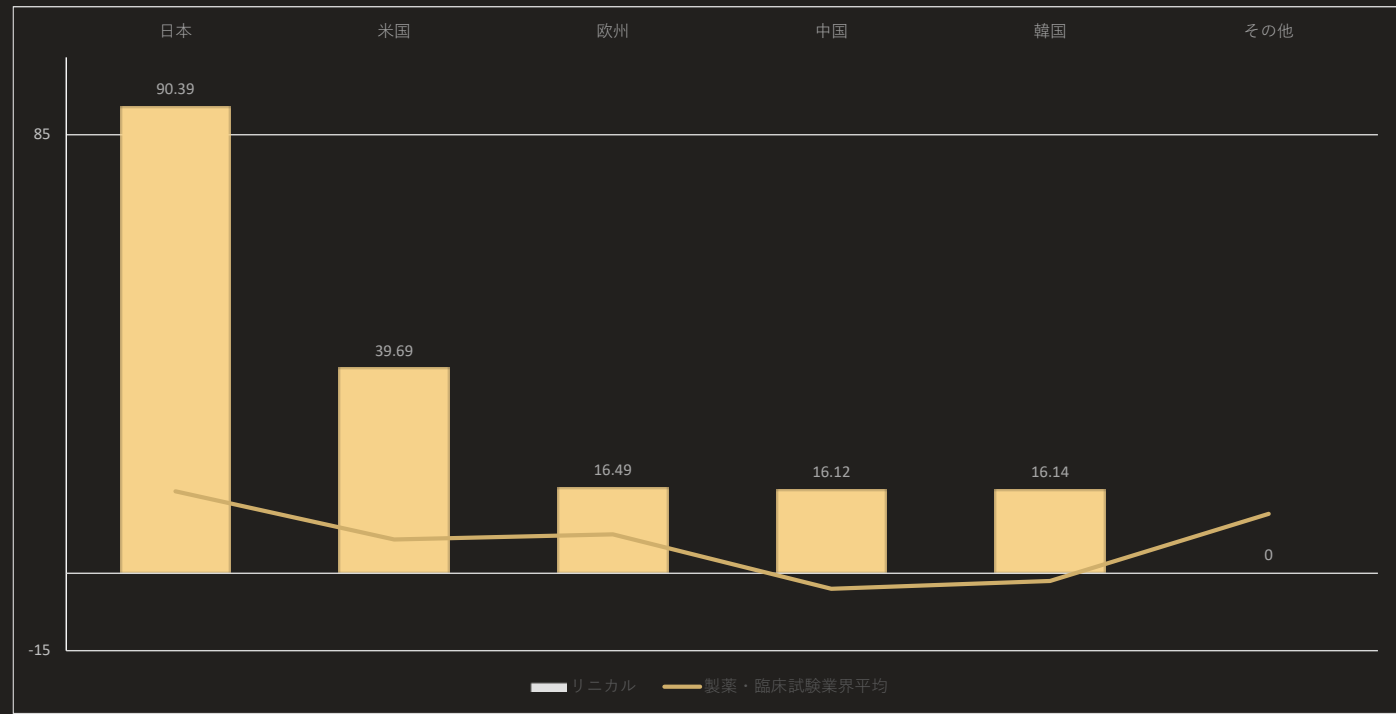
178.82

製薬・臨床試験  
業界平均

24.94



感染拡大エリア別 リニカルへの影響



リニカル  
シナリオ影響スコア合計

178.82

大幅増益の可能性

当企業は、業績にポジティブな影響を与えるシナリオが非常に顕著にみられ、業績が大幅に伸張する可能性が高いといえます。

リニカル  
シナリオ影響平均時間軸

6.0ヵ月

本格的な影響はこれから

上記期間は、影響するシナリオ全体の時間軸を平均した期間で、全体として上記期間前後を中心に業績に顕在化することを意味します（2020年3月1日を感染拡大の初日として計算）。当企業では業績影響はこれから本格化していくことが想定されます。

リニカル  
シナリオ影響平均時間軸

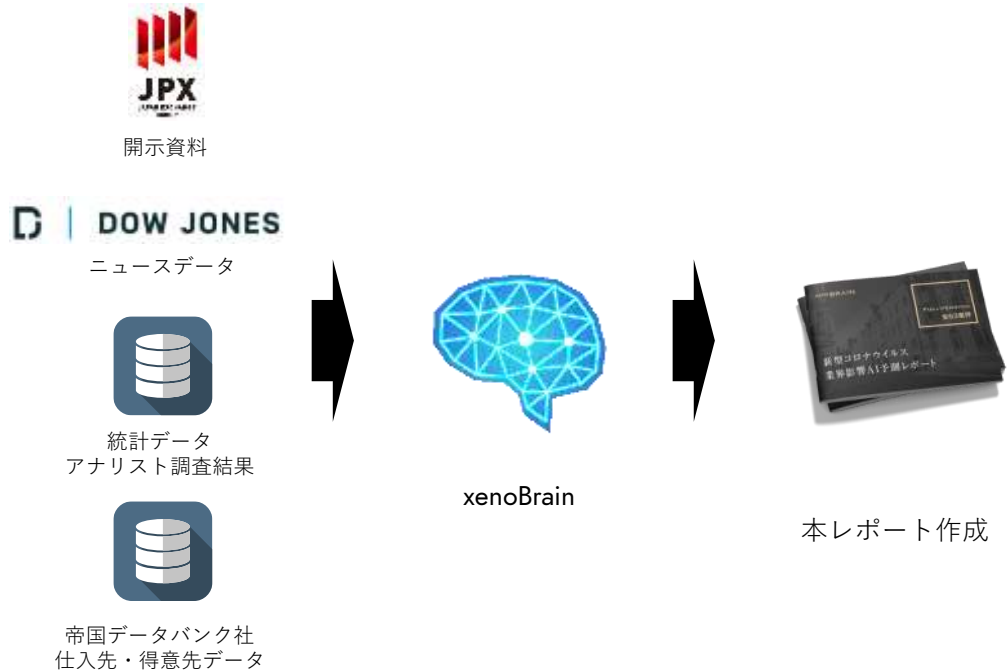


リニカルへの影響時間軸

	リニカル	リニカル 仕入先業界平均	リニカル 得意先業界平均	製薬・臨床試験業 界
短期 (~3か月以内に業績影響)	0%	-	-	66.26%
中期 (3か月~1年以内に業績影響)	100%	-	-	33.7%
長期 (1年超後に業績影響)	0%	-	-	0.04%
シナリオ影響 平均時間軸	6ヵ月	-	-	3.4ヵ月

# 本レポート上で掲載するスコアについて

## スコア生成方法について



本資料のスコアはxenodata lab.社独自のAIによる解析及びアナリストの独自調査によりデータを抽出し、その抽出結果をシステムにより自動で計算しております。その基となっているデータは以下の4つとなります。

- ①ニュースデータ（ダウ・ジョーンズ社から提供を受ける国内約100社の経済メディアのニュース記事データ）
- ②開示資料（有価証券報告書、決算短信及び決算説明会資料に含まれる数値及び文章）
- ③統計データ（様々な団体から発表、公開されている統計データ）
- ④帝国データバンク社から提供を受けた、仕入先、得意先データ

## スコアの見方について



本資料上の企業ごとのスコアは、特定のニュースが発生した場合に、現時点でxenoBrain上でインプットされているすべてのシナリオの影響を計算したスコアです。また、本資料におけるスコアは、スコアの絶対値が大きければ大きいほど、将来業績に影響を与える可能性が高いと判断していることを意味します。また、0に近ければ近いほど実際に業績に影響する可能性が低いと判断していることを意味します。

### ※スコアを見るうえでの留意点

#### <情報の網羅性・正確性>

本資料のスコア計算に必要な情報の網羅性については鋭意努力しておりますが、インサイダー情報や市場の暗黙知など文字情報に落ちていないナレッジ、今後企業が行う対策などの企業努力や競争力は一切考慮できておりません。また、大量の企業についての予測を行うために公開されている情報を基に様々な前提をおいた自動処理が含まれており、十分な情報と時間を基にした調査を行ったアナリストと同じ見解にならない可能性もございます。あくまで公開されている経済情報のみからの予測であり、情報の網羅性・正確性を担保した予測ではないこと、ご注意ください。

#### <スコアの変動可能性>

ニュースの自動解析、アナリストの独自調査により一部データを構成しておりますので、時が経ちニュースが多く出るほどより多くのデータがインプットされ、結果としてスコアが変動することがございます。本資料は、表紙記載日付におけるxenoBrain上のデータを基に作成された資料であり、今後更新されることがございますのでご注意ください。

# リニカル

## 影響シナリオ一覧



### 各国合計新型コロナウイルス感染拡大

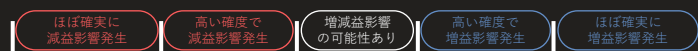
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	日本訪日外国人数減少	0.04	日本医療用医薬品需要減少	1	日本医薬品販売支援需要減少			0.06	減収	-0.21	中期	
2	欧州新型コロナウイルス感染拡大	0.06	日本訪日外国人数減少	0.04	日本医療用医薬品需要減少	1	日本医薬品販売支援需要減少	0.06	減収	-0.01	中期	
3	欧州新型コロナウイルス感染拡大	1	欧州医療用医薬品需要増加	1	欧州医薬品販売支援需要増加			0	増収	0.4	中期	
4	欧州新型コロナウイルス感染拡大	1	欧州新薬開発需要増加	1	欧州臨床試験モニタリング業務受託需要増加			0.02	増収	2.3	中期	
5	欧州新型コロナウイルス感染拡大	1	欧州新薬開発需要増加	1	欧州臨床試験品質管理業務受託需要増加			0.02	増収	2.3	中期	
6	欧州新型コロナウイルス感染拡大	1	欧州新薬開発需要増加	1	欧州臨床試験コンサルティング需要増加			0.02	増収	2.3	中期	
7	欧州新型コロナウイルス感染拡大	1	欧州新薬開発需要増加	1	欧州臨床試験受託需要増加			0.05	増収	4.6	中期	
8	欧州新型コロナウイルス感染拡大	1	欧州臨床試験受託需要増加					0.05	増収	4.6	中期	
9	イラン新型コロナウイルス感染拡大	0.01	日本訪日外国人数減少	0.04	日本医療用医薬品需要減少	1	日本医薬品販売支援需要減少	0.06	増収	0	中期	
10	インドネシア新型コロナウイルス感染拡大	0	日本訪日外国人数減少	0.04	日本医療用医薬品需要減少	1	日本医薬品販売支援需要減少	0.06	増収	0	中期	
11	日本新型コロナウイルス感染拡大	0.2	日本医療用医薬品需要増加	1	日本医薬品販売支援需要増加			0.06	増収	1.1	中期	
12	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本新薬開発需要増加	1	日本臨床試験コンサルティング需要増加			0.1	増収	9.93	中期	
13	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本新薬開発需要増加	1	日本臨床試験品質管理業務受託需要増加			0.1	増収	9.93	中期	
14	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本新薬開発需要増加	1	日本臨床試験モニタリング業務受託需要増加			0.1	増収	9.93	中期	
15	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本臨床試験受託需要増加					0.3	増収	29.85	中期	

# リニカル

## 影響シナリオ一覧



### 各国合計新型コロナウイルス感染拡大

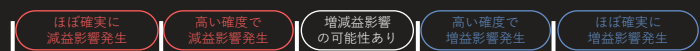
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	係数	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
16	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 日本新薬開発需要増加	⇒	1 日本臨床試験受託需要増加	⇒		⇒	0.3	増収	29.85	中期
17	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.05 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒	1 日本医薬品販売支援需要減少	⇒	0.06	減収	-0.01	中期
18	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国医療用医薬品需要増加	⇒	1 米国医薬品販売支援需要増加	⇒		⇒	0.01	増収	1	中期
19	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国新薬開発需要増加	⇒	1 米国臨床試験モニタリング業務受託需要増加	⇒		⇒	0.06	増収	5.5	中期
20	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国新薬開発需要増加	⇒	1 米国臨床試験コンサルティング需要増加	⇒		⇒	0.06	増収	5.5	中期
21	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国新薬開発需要増加	⇒	1 米国臨床試験品質管理業務受託需要増加	⇒		⇒	0.06	増収	5.5	中期
22	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国新薬開発需要増加	⇒	1 米国臨床試験受託需要増加	⇒		⇒	0.11	増収	11.1	中期
23	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国臨床試験受託需要増加	⇒		⇒		⇒	0.11	増収	11.1	中期
24	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.18 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒	1 日本医薬品販売支援需要減少	⇒	0.06	減収	-0.04	中期
25	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 韓国医療用医薬品需要増加	⇒	1 韓国医薬品販売支援需要増加	⇒		⇒	0	増収	0.08	中期
26	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 韓国新薬開発需要増加	⇒	1 韓国臨床試験モニタリング業務受託需要増加	⇒		⇒	0.02	増収	2.3	中期
27	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 韓国新薬開発需要増加	⇒	1 韓国臨床試験コンサルティング需要増加	⇒		⇒	0.02	増収	2.3	中期
28	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 韓国新薬開発需要増加	⇒	1 韓国臨床試験品質管理業務受託需要増加	⇒		⇒	0.02	増収	2.3	中期
29	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 韓国新薬開発需要増加	⇒	1 韓国臨床試験受託需要増加	⇒		⇒	0.05	増収	4.6	中期
30	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 韓国臨床試験受託需要増加	⇒		⇒		⇒	0.05	増収	4.6	中期



# リニカル

## 影響シナリオ一覧



### 各国合計新型コロナウイルス感染拡大

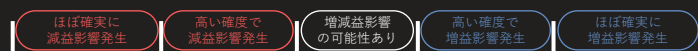
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



-30      -5      0      5      30

Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	係数	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 中国臨床試験受託需要増加	⇒		⇒		⇒	0.05	増収	4.6	中期
2	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 中国新薬開発需要増加	⇒	1 中国臨床試験受託需要増加	⇒		⇒	0.05	増収	4.6	中期
3	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 中国新薬開発需要増加	⇒	1 中国臨床試験品質管理業務受託需要増加	⇒		⇒	0.02	増収	2.3	中期
4	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 中国新薬開発需要増加	⇒	1 中国臨床試験コンサルティング需要増加	⇒		⇒	0.02	増収	2.3	中期
5	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 中国新薬開発需要増加	⇒	1 中国臨床試験モニタリング業務受託需要増加	⇒		⇒	0.02	増収	2.3	中期

# エリア別 シナリオ一覧

- 日本
- 米国
- 欧州
- 中国
- その他（インド、ブラジル、韓国、インドネシア、イラン、ロシア、トルコ、豪州、アフリカ）



# リニカル

## 影響シナリオ一覧



### 日本新型コロナウイルス感染拡大

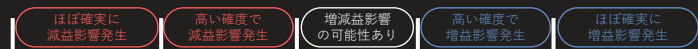
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	係数	影響	シナリオ 影響スコア	時間軸
1	日本新型コロナウイルス感染拡大		1 日本臨床試験受託需要増加						0.3 増収	29.85	中期		
2	日本新型コロナウイルス感染拡大		1 日本新薬開発需要増加		1 日本臨床試験受託需要増加				0.3 増収	29.85	中期		
3	日本新型コロナウイルス感染拡大		1 日本新薬開発需要増加		1 日本臨床試験コンサルティング需要増加				0.1 増収	9.93	中期		
4	日本新型コロナウイルス感染拡大		1 日本新薬開発需要増加		1 日本臨床試験品質管理業務受託需要増加				0.1 増収	9.93	中期		
5	日本新型コロナウイルス感染拡大		1 日本新薬開発需要増加		1 日本臨床試験モニタリング業務受託需要増加				0.1 増収	9.93	中期		
6	日本新型コロナウイルス感染拡大	0.2	日本医療用医薬品需要増加		1 日本医薬品販売支援需要増加				0.06 増収	1.1	中期		
7	日本訪日外国人数減少	0.04	日本医療用医薬品需要減少		1 日本医薬品販売支援需要減少				0.06 減収	-0.21	中期		
総計									増益	90.38			

# リニカル

## 影響シナリオ一覧



### 米国新型コロナウイルス感染拡大

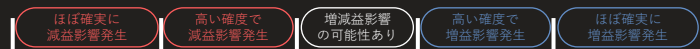
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国新薬開発需要増加	⇒	1 米国臨床試験受託需要増加	⇒	0.11 増収	⇒	11.1	増収	11.1	中期
2	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国臨床試験受託需要増加	⇒	1 米国臨床試験モニタリング業務受託需要増加	⇒	0.06 増収	⇒	5.5	増収	5.5	中期
3	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国臨床試験モニタリング業務受託需要増加	⇒	1 米国臨床試験コンサルティング需要増加	⇒	0.06 増収	⇒	5.5	増収	5.5	中期
4	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国臨床試験品質管理業務受託需要増加	⇒	1 米国臨床試験品質管理業務受託需要増加	⇒	0.06 増収	⇒	5.5	増収	5.5	中期
5	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国医療用医薬品需要増加	⇒	1 米国医薬品販売支援需要増加	⇒	0.01 増収	⇒	1	増収	1	中期
6	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.05 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒	1 日本医薬品販売支援需要減少	⇒	0.06 減収	減収	-0.01	中期
7	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.05 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒	1 日本医薬品販売支援需要減少	⇒	0.06 減収	減収	-0.01	中期
総計									増益	39.69		

# リニカル

## 影響シナリオ一覧



### 欧州新型コロナウイルス感染拡大

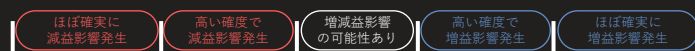
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 欧州新薬開発需要増加	⇒	1 欧州臨床試験受託需要増加	⇒	0.05 増収	⇒	4.6	増収	4.6	中期
2	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 欧州臨床試験受託需要増加	⇒	1 欧州臨床試験受託需要増加	⇒	0.05 増収	⇒	4.6	増収	4.6	中期
3	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 欧州新薬開発需要増加	⇒	1 欧州臨床試験モニタリング業務受託需要増加	⇒	0.02 増収	⇒	2.3	増収	2.3	中期
4	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 欧州新薬開発需要増加	⇒	1 欧州臨床試験品質管理業務受託需要増加	⇒	0.02 増収	⇒	2.3	増収	2.3	中期
5	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 欧州新薬開発需要増加	⇒	1 欧州臨床試験コンサルティング需要増加	⇒	0.02 増収	⇒	2.3	増収	2.3	中期
6	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 欧州医療用医薬品需要増加	⇒	1 欧州医薬品販売支援需要増加	⇒	0 増収	⇒	0.4	増収	0.4	中期
7	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.06 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒	1 日本医薬品販売支援需要減少	⇒	0.06 減収	減収	-0.01	中期
総計									増益	16.49		

# リニカル

## 影響シナリオ一覧



### 中国新型コロナウイルス感染拡大

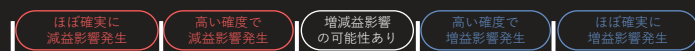
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 中国新薬開発需要増加	⇒	1 中国臨床試験受託需要増加	⇒		⇒	0.05 増収	4.6	中期	
2	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 中国臨床試験受託需要増加	⇒		⇒		⇒	0.05 増収	4.6	中期	
3	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 中国新薬開発需要増加	⇒	1 中国臨床試験モニタリング業務受託需要増加	⇒		⇒	0.02 増収	2.3	中期	
4	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 中国新薬開発需要増加	⇒	1 中国臨床試験コンサルティング需要増加	⇒		⇒	0.02 増収	2.3	中期	
5	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 中国新薬開発需要増加	⇒	1 中国臨床試験品質管理業務受託需要増加	⇒		⇒	0.02 増収	2.3	中期	
6	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 中国医療用医薬品需要増加	⇒	1 中国医薬品販売支援需要増加	⇒		⇒	0 増収	0.08	中期	
7	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.3 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒	1 日本医薬品販売支援需要減少	⇒	0.06 減収	-0.06	中期	
総計									増益	16.12		

# リニカル

## 影響シナリオ一覧



## その他エリア 新型コロナウイルス感染拡大

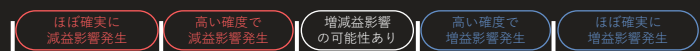
### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 韓国新薬開発需要増加	⇒	1 韓国臨床試験受託需要増加	⇒		⇒	0.05 増収	4.6	中期	
2	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 韓国臨床試験受託需要増加	⇒		⇒		⇒	0.05 増収	4.6	中期	
3	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 韓国新薬開発需要増加	⇒	1 韓国臨床試験モニタリング業務受託需要増加	⇒		⇒	0.02 増収	2.3	中期	
4	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 韓国新薬開発需要増加	⇒	1 韓国臨床試験コンサルティング需要増加	⇒		⇒	0.02 増収	2.3	中期	
5	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 韓国新薬開発需要増加	⇒	1 韓国臨床試験品質管理業務受託需要増加	⇒		⇒	0.02 増収	2.3	中期	
6	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 韓国医療用医薬品需要増加	⇒	1 韓国医薬品販売支援需要増加	⇒		⇒	0 増収	0.08	中期	
7	イラン新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.01 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒	1 日本医薬品販売支援需要減少	⇒	0.06 増収	0	中期	
8	インドネシア新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒	1 日本医薬品販売支援需要減少	⇒	0.06 増収	0	中期	
9	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.18 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒	1 日本医薬品販売支援需要減少	⇒	0.06 減収	-0.04	中期	
総計									増益	16.14		

# リニカル サプライチェーン分析

- 仕入先分析サマリー
- 仕入先減益ランキング
- 仕入先増益ランキング
- 得意先分析サマリー
- 得意先減益ランキング
- 得意先増益ランキング



当企業には、仕入先企業に該当するデータがございませんでした。

リニカル  
得意先企業  
シナリオ影響スコア平均

50.32

得意先企業  
増益の可能性

当企業の得意先は、業績にポジティブな影響を与えるシナリオが顕著にみられ、業績が伸張する可能性が高いといえます。

リニカル 得意先業界への影響

業界名	得意先シナリオ影響スコア合計	影響	主な得意先企業 (シナリオ影響スコア合計)
製薬・臨床試験	50.32	増益影響	武田薬品工業株式会社 大塚製薬株式会社、三井物産株式会社、東洋薬業株式会社 大塚製薬株式会社 武田薬品工業株式会社、三井物産株式会社 武田薬品工業株式会社、三井物産株式会社 武田薬品工業株式会社、三井物産株式会社 武田薬品工業株式会社、三井物産株式会社 武田薬品工業株式会社、三井物産株式会社 武田薬品工業株式会社、三井物産株式会社 武田薬品工業株式会社、三井物産株式会社 武田薬品工業株式会社、三井物産株式会社 武田薬品工業株式会社、三井物産株式会社 武田薬品工業株式会社、三井物産株式会社

# リニカル

サプライチェーン分析  
得意先  
減益影響ランキング

各国合計新型コロナウイルス感染拡大

<表の見方について>

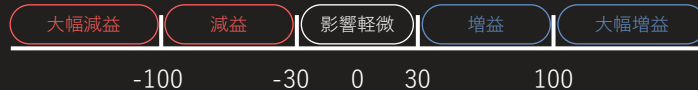
業界名：xenoBrain独自の63分類です。

総合スコア：xenoBrain上で生成された、企業に影響する全経路のシナリオ影響スコアの合計を意味します。

企業名：全ての得意先企業を対象に、各企業のシナリオ影響スコア合計の大きい順で表示しています。得意先情報は帝国データバンク社から提供を受けたデータです。当ランキングでは得意先からの売上金額や依存度などは考慮していません。

主要取扱商品・サービス：有価証券報告書等の記載を基にxenodata独自のアルゴリズムやリサーチ結果により選定した情報です。得意先企業の業態を示す情報であり、当業界所属企業へ販売している商品・サービスを示している情報ではございませんのでご注意ください。

企業ごとの総合スコアが意味する影響の目安



Ranking 業界名 総合スコア 企業名 主要取扱商品・サービス

## サプライチェーン分析は 有料版でご利用できます

【期間限定】 特別価格プランの紹介ページはこちら

本プランでは国内全上場企業のレポートを無制限にダウンロードが可能です。

未上場企業のレポートも間もなくリリース予定！！

# リニカル

## サプライチェーン分析 得意先 減益影響ランキング

各国合計新型コロナウイルス感染拡大

<表の見方について>

業界名：xenoBrain独自の63分類です。

総合スコア：xenoBrain上で生成された、企業に影響する全経路のシナリオ影響スコアの合計を意味します。

企業名：全ての仕入先企業を対象に、各企業のシナリオ影響スコア合計の大きい順で表示しています。仕入先情報は帝国データバンク社から提供を受けたデータです。当ランキングでは仕入先からの仕入金額や依存度などは考慮していません。

主要取扱商品・サービス：有価証券報告書等の記載を基にxenodata独自のアルゴリズムやリサーチ結果により選定した情報です。仕入先企業の業態を示す情報であり、当業界所属企業へ販売している商品・サービスを示している情報ではございませんのでご注意ください。

企業ごとの総合スコアが意味する影響の目安



Ranking 業界名 総合スコア 企業名 主要取扱商品・サービス

## サプライチェーン分析は 有料版でご利用できます

【期間限定】特別価格プランの紹介ページはこちら [🔗](#)

本プランでは国内全上場企業のレポートを無制限にダウンロードが可能です。

未上場企業のレポートも間もなくリリース予定！！


# リニカル

## AI決算コメント

2020年03月期 通期

(19/04 - 20/03月)

決算発表日時2020年 05月25日 16:50

AI決算分析サービスをもっと知りたい 

<AI決算コメントについて>

本コメントは、決算発表後最速数十秒で自動生成されるテキスト形式のレポートであり、その内容を定期的に本レポートに反映しております。本レポートでは、営業利益や最終利益の実績値の結果情報だけでなく、その業績変動の背景を独自の自然言語処理技術を使って自動解説として出力しており、瞬時に決算の背景を理解することができます。また、セグメント数値を自動で抽出することにより、その決算の業績変動のドライバーとなったセグメントについてもすぐに確認することが可能です。

20年3月期、売上高は、109億円で前期比3.3%減収となった。減収は、CRO事業の売上減少が影響した。営業利益は、10.1億円で前期比17.1%減益となった。営業減益は、育薬事業が前期から増益となったものの、CRO事業が減益となったことが影響した。経常利益は、9.18億円で前期比26.7%減益となった。最終利益は、2019年10月18日に「当企業海外子会社に対する仲裁の申立に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、米国での仲裁対応のための弁護士報酬等の費用が発生したことやグループ管理の実効性強化と意思決定の迅速化のため、LAA社の欧州子会社をLINICAL Europe Holding GmbHに統合するグループ内組織再編に関連する費用の発生が影響し、前期比15.1%減の4.82億円で着地した。

四半期ベースでは、前年同期比では、売上高は、27.3億円でy-y横ばい(0.3%減)となった。営業利益は、1.35億円でy-y38.4%減益となった。経常利益は、1.42億円でy-y39.3%減益となった。最終利益は、84百万円でy-y27.0%減益となった。前四半期比売上高は、27.3億円でq-q3.1%減収となった。営業利益は、1.35億円でq-q54.8%減益となった。経常利益は、1.42億円でq-q51.4%減益となった。最終利益は、84百万円でq-q50.0%減益となった。

次期業績予想発表なし。21年3月期配当予想は前期据え置きの14.0円。

自己資本比率は37.4%(19年3月末は39.6%)となった。

EBITDAマージンは13.42%(前年同期は14.71%)となった。

インタレストカバレッジレシオは96.80倍(前年同期は123.40倍)となった。

D/Eレシオは0.87倍(前期末は0.89倍)となった。

臨床試験受託中  
小5社

競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



予想値分析



営業利益  
予想 会社計画発表なし



中間配当予想は0.0円と発表された。

P/L分析



CRO事業の売上減少により減収となった。

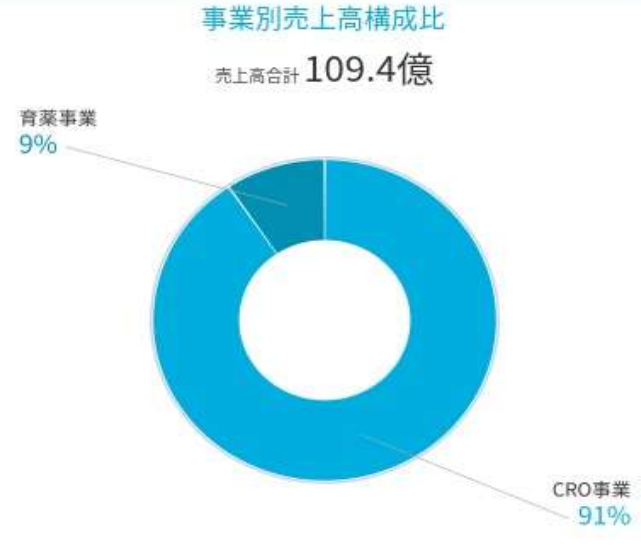


育薬事業は好調だったが、CRO事業の不振により減益となった。

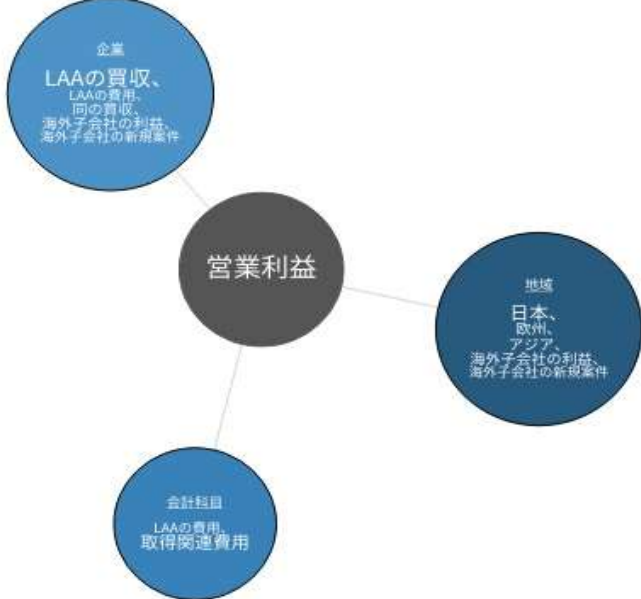


2019年10月18日に「当企業海外子会社に対する仲裁の申立に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、米国での仲裁対応のための弁護士報酬等の費用が発生したことやグループ管理の実効性強化と意思決定の迅速化のため、LAA社の欧州子会社をLINICAL Europe Holding GmbHに統合するグループ内組織再編に関連する費用の発生により最終減益となった。

事業別分析



営業利益影響要因の経年分析



臨床試験受託中  
小5社

競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



予想値分析



通期業績予想達成回数 3/11回  
通期業績予想平均達成率 -43.5%  
※過去の通期決算で発表された次期業績予想の達成状況



中間配当予想は20.0円と発表された。

P/L分析



先端医療事業は売上増加も、メディカルサポート事業、SMO事業の売上減少が影響し、全体としておおむね横ばいで推移した。



SMO事業、メディカルサポート事業、先端医療事業は好調も減益となった。



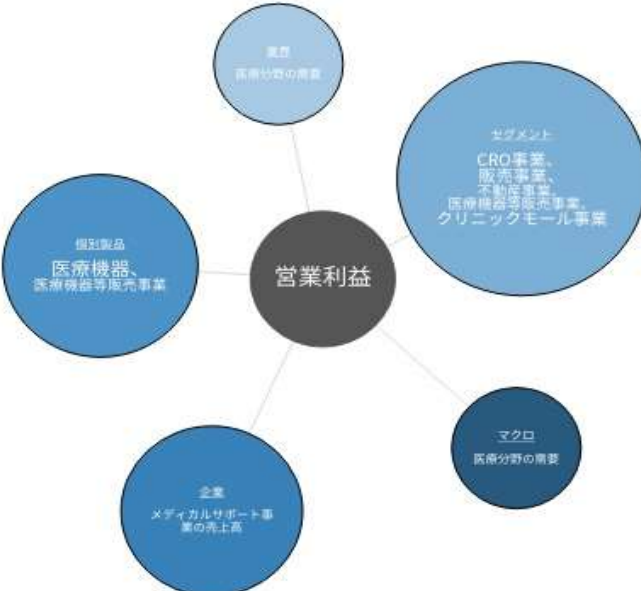
事業別分析



利益面では、23.2億円（前年同期比5.8%増）と増益となった。一方、売上面では、新型コロナウイルス感染症の流行により、一部の臨床試験において新規試験の開始時期の見直しや実施中試験の新規被験者登録の中断の影響で減収となった。



営業利益影響要因の経年分析



臨床試験受託中  
小5社

競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



予想値分析



通期業績予想達成回数 9/11回  
通期業績予想平均達成率 105.0%  
※過去の第2四半期決算で発表された通期業績予想の達成状況

配当  
予想 中間配当金 予想下振れ



期末配当予想は未定となった。

P/L分析



益新事業において中国における薬品管理法改正が影響し、製造ラインを一時的に停止したことによる出荷への影響や、Global Research事業において大型案件が前期終了した影響などがあるが、CSO事業が好調であること等も、全体としておおむね横ばいで推移した。

営業  
利益 減益 15.6%減



益新事業の製造ライン停止により供給が減少したことや、CRO事業は前期において好採算なモニタリング案件及び大型臨床研究が終了した影響の影響で減益となった。

最終  
利益 最終減益 7.2%減



事業別分析



事業別  
利益 CRO事業 減益



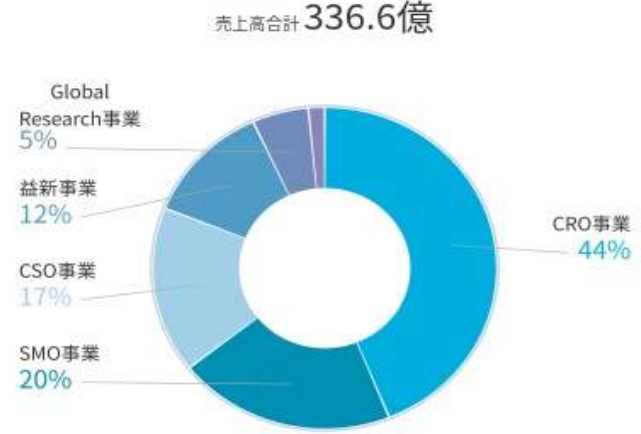
モニタリングにおいては高単価案件が前期終了したこと、前下半期に引合いが低調であったことが当期間に影響したことにより減益となった。

事業別  
利益 CSO事業 大幅増益



メディカルコンタクトセンター事業を中心に伸長したことにより増収増益となった。

事業別売上高構成比




営業利益影響要因の経年分析





臨床試験受託中  
小5社

競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい 

予想値分析



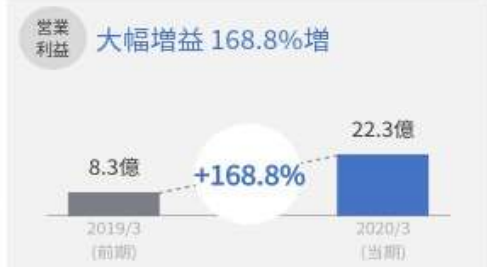
通期業績予想達成回数 8/11回  
通期業績予想平均達成率 -1214.1%  
※過去の通期決算で発表された次期業績予想の達成状況



P/L分析



米国前臨床事業及びSMO事業を譲渡したことにより減収となった。



前臨床事業、メディポリス事業の好調により増益となった。



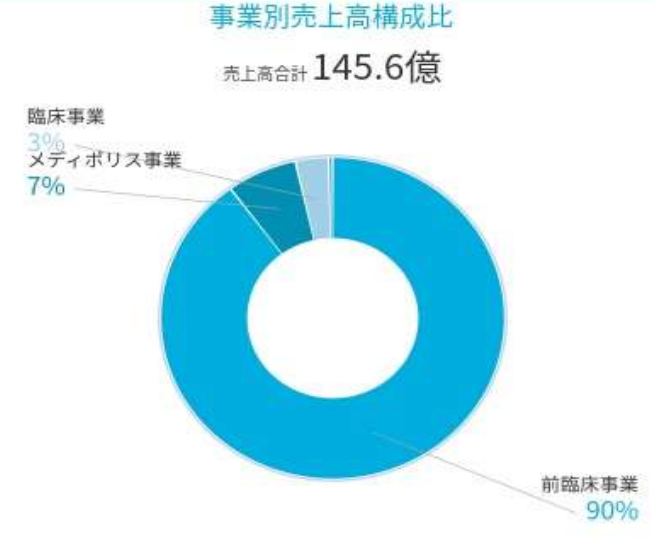
事業別分析



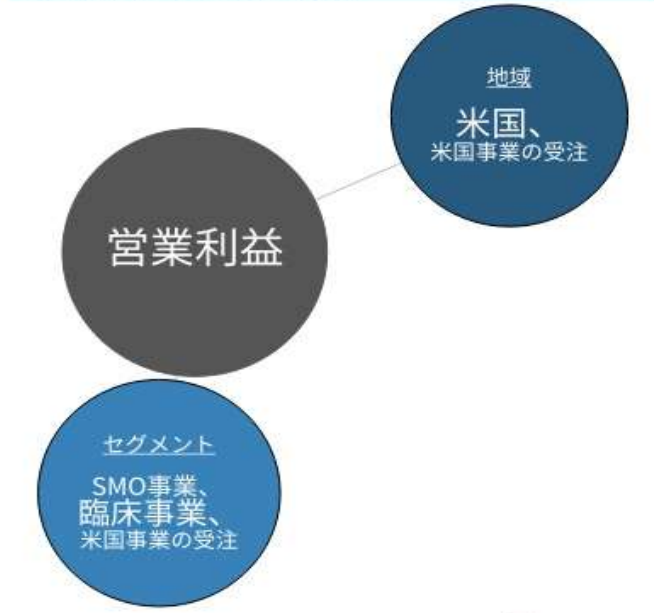
利益面では、28.7億円（前年同期比107.1%増）と大幅増益となった。一方、売上面では、米国前臨床事業を譲渡したことにより減収となった。



事業別売上高構成比



営業利益影響要因の経年分析



臨床試験受託中  
小5社

競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



予想値分析



営業益  
予想 会社計画発表なし

配当  
予想 期末配当金 計画通り



中間配当予想は0.0円と発表された。

P/L分析



CRO事業の売上がコロナウイルス問題の顕在化で失速したことの影響も、当連結会計年度より連結グループに加入した株式会社TGMの売上の寄与により増収となった。



その他事業は好調だったが、CRO事業の不振により減益となった。



事業別分析

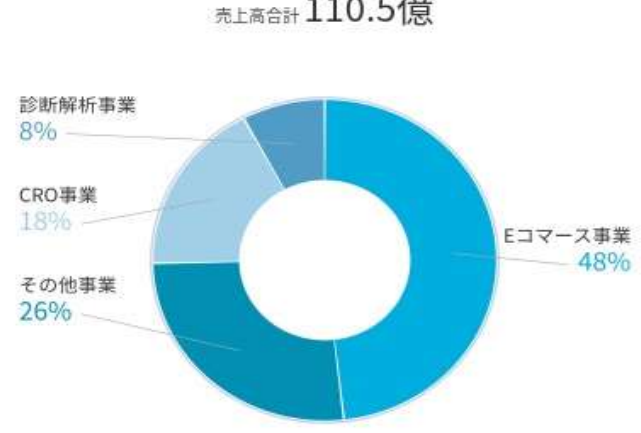


新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、非臨床試験受託用の動物輸入が来期以降に延期となり非臨床試験が計画通り進まなかったこと、中国の提携ラボで実施している受託試験が2020年2月以降計画通り実施できず当初完了予定の3月から大幅に遅延することとなったこと、また、国内で実施している一部の当期完了予定であった臨床試験が3月以降延期となり期末までに完了できなくなったことなどから、新型コロナウイルス問題の顕在化以降に売上及び受注が伸び悩みましたにより減収減益となった。

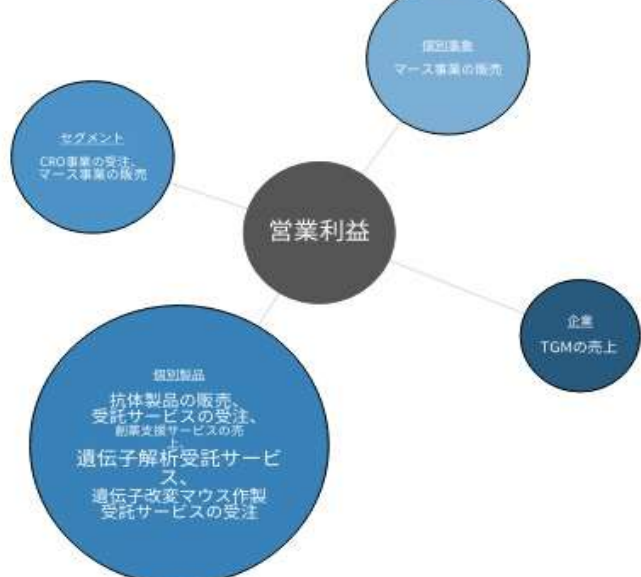


消費税率の引き上げ直後の売上の一時的な落ち込みはあるも、年末商戦以降の好調を維持したほか、2020年3月に連結子会社化したギャラククス貿易株式会社の売上も寄与により増収増益となった。

事業別売上高構成比



営業利益影響要因の経年分析



# リニカル

## 業績要因一覧

セグメント及び業績に影響するトピック	売上高構成比率	影響時間軸	売上高(百万円)	出典	新型コロナウイルス感染拡大影響有無
CRO事業	91.6%		10,359	有価証券報告書	
臨床試験コンサルティング需要	91.6%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
臨床試験モニタリング業務受託需要	91.6%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
臨床試験受託需要	91.6%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
臨床試験品質管理業務受託需要	91.6%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
育薬事業	8.4%		954	有価証券報告書	
医薬品販売支援需要	8.4%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り

### <表の見方について>

セグメント及び業績に影響するトピック：開示資料を中心に、様々なデータソースから抽出された本レポート対象企業の業績に影響を及ぼすトピックを、セグメントに分類して列挙しております。

売上高構成比率：セグメント名称と同一行にある比率は、そのセグメントの売上高構成比率を表示しております。各業績に影響するトピックは、セグメント売上高構成比率を基に、主力商品や主要原材料をより高く、非主力商品や非主要原材料をより低くなるよう、xenoBrain上で独自に推定した比率が表示されております。

影響時間軸：業績に影響するトピックに変動があったときに、どのような時間軸で業績に影響するかをxenodata lab.社のアナリストが判断しています。短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。

売上高：セグメント売上高及び連結財務諸表上の売上高を表示しております。

出典：業績に影響するトピックを抽出したデータソースを表示しております。

新型コロナウイルス感染拡大の影響有無：「新型コロナウイルス感染拡大の影響有り」と記載されている場合、新型コロナウイルス感染拡大の影響で同一行に表示されるトピックが増減（又は発生）し、その結果として当企業の業績に影響を及ぼす可能性があることを意味します。

# リニカル

## 基本情報

企業コード	2183
企業名	リニカル
業種（東証33業種）	サービス業
業種（xenoBrain）	製薬・臨床試験
代表者	代表取締役社長 秦野 和浩
住所	大阪府大阪市淀川区宮原一丁目6番1号新大阪ブリックビル
電話番号	06-6150-2582
売上高	11,313百万円
資本金	214百万円
取引市場	東証1部
URL	<a href="https://www.linical.co.jp/">https://www.linical.co.jp/</a>


# 製薬・臨床試験業界

---

## リニカルが所属する業界全体の分析レポート

xenoBrainでは新型コロナウイルス感染拡大が、所属する業界全体にどのような影響が発生しているのか、また、どのようなシナリオが考えられるかを、総合的に俯瞰できる業界レポートも提供しております。

製薬・臨床試験業界のレポートダウンロードはこちら↓

業界レポート ダウンロード 

[全63業界完全版レポートのダウンロードはこちら >>>](#)



# 本レポート発行企業

株式会社xenodata lab.

所在地 〒150-0046 東京都渋谷区松濤1-29-1  
渋谷クロスロードビル5F  
設立年月日 2016年2月12日  
代表者 代表取締役社長 関 洋二郎  
従業員数 25名

## 沿革

- 2016/08 第一期 MUFU Fintechアクセラレータ **グランプリ受賞**
- 2019/03 Series Bラウンド資金調達 **6.8億円**
- 2019/4 **時事通信社**と業務資本提携契約締結
- 2019/06 **ダウ・ジョーンズ社**と業務提携強化を発表
- 2019/11 **帝国データバンク**との業務提携を発表

株式会社xenodata lab.は、AIにより経済・企業の将来予測をリアルタイムで提供するSaaS型AIサービス『xenoBrain』を運営するスタートアップ企業です。2016年に創業以来、経済予測に特化し自然言語処理や機械学習を中心とした技術で膨大な経済データの解析を行い、主に大手金融機関や事業法人にサービスを提供しております。